A nighttime landscape photograph featuring a variety of trees, some of which are illuminated with vibrant colors like green, yellow, and orange. Large, dark rocks are scattered across the foreground and middle ground. The overall scene is set against a dark night sky.

2021年度春 地方都市インターンシップ

【島根県編】

協力企業様

NPO法人 あしぶえ様
一般社団法人 Expe様

東洋大学 オンライン・インターンシップ 島根県編

地方インターンシップ第一弾【島根県】スタート！！

2022年1月29日（土）から10日間にわたる島根県地方都市インターンシップがオンラインにて開催されました。当初、現地での対面インターンシップの予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から急遽オンラインに切り替わりました。企業の皆様にもご協力をいただき、急な対応にも応じてくださり大変感謝しております。

本インターンシップは、一極集中化する東京都ではなく地方都市において、その良さを発見すること。また、今後の就職活動において1ターン就職を含めた新たな価値観で大学を卒業後の道を考える機会の提供を目指したプログラムです。コロナ禍で働き方に変化が見え始めた昨今、地方から遠隔で仕事をする企業も増えてきました。地方企業の魅力、地方都市で生活する利点などを本インターンシップを通じて学習していきたいと思えます。

今回、島根県からは「NPO法人あしぶえ」様、「一般社団法人Expe」様の2社にご協力をいただきました。

【NPO法人あしぶえ】様

しいの実シアターの専属劇団として演劇の制作を手がけ、国内外で公演を行う。各種学校や企業などで表現・コミュニケーション力育成事業も行っている。

【一般社団法人Expe】様

インバウンドビジネスを核とした観光ビジネスを展開。松江市中心市街地に観光ビジネス拠点をつくり、交流人口の拡大を図る。

1月29日（土）1日目：事前学習

今日は、インターンシップに参加する学生同士の交流会とこれから始まるインターンシップについての講義を聞きました。また、インターンシップについての講義では、外国と日本の就職活動の違いについて学びました。

参加者の感想

今回のインターンシップは、やむを得ずオンラインに切り替えになってしまい、現地に行けなくなりましたが、オンラインにも情熱を示し、きちんとやっていきたいと思えます。観光産業については、自分の研究内容となっていて、興味をもっている分野なので、インターンシップで学びたいことがたくさんあります。また、提案を通じて、業界の課題などにも詳しく知りたいたと思います。（経済学研究科1年 徐 冉）

多くのみんなはまだ2年生ですがすでにインターンシップなど就職活動を開始しており、将来の進路はすでに決められた学生もいました。私なんかもうすぐ4年生になるにも関わらず今回が初のインターンシップ体験ということで、非常に危機感を認識させられました。がんばります。（国際学部3年 WANG ZHICHAO）

インターンシップの最初のミーティングでしたが、先生からたくさんのことを学びました。特に日本の就職活動についてはたくさんの情報がありました。たとえば、何を準備するか、いつインターンシップを開始するかなどです。（国際学部2年 KAUNG KHANT NYI）

私がいた香港も含め、スキルや資格を重視して新入社員を選びますが、日本では技能などよりも、就活生の人となりなどを見ています。つく職業も大半の場合自分が大学で習った知識と関係ないことが分かりました。それにより、大学での学びによってつく職業が制限されることがないという利点があると考えました。（経営学部2年 Tsang Cheuk Yin）

アイスブレイクして、皆との交流を深めた後、メンバーの強みを見出すことができました。そして、今回のインターンシップ課題についてメンバーの強みをそれぞれ活かして、チームとして活発にできたらと考えました。オンラインだからこそ挨拶や会話の上達が非常に重要ということを理解しました。（国際学部3年 Nguyen Thi Hoang Pho）

初日にみんなが自己紹介しあい、ブレイクアウトルームを何回かすることで、初めて会った同じ大学の人と話せました。今回も所属している学部学科がバラバラで、この多様性を活かせたらきっと目覚ましい完成度で課題を解決できると思います。（文学部2年 水上 博文）

留学生として一番の問題となるのが日本企業が独特な就職活動の形態をとっているところです。日本の就職活動は、「活動する期間が長い」「開始時期が早い」「選考方法が複雑」など独特の文化を持っており、海外からの留学生は理解をすることが難しいようです。（食環境科学部2年 包 新天）

他の学部の学生との交流はあまりなかったので、とても貴重な経験だと思いました。私はまだ日本に就職するかどうか迷っているのですが、他の学生と就職の話をして、ほぼ日本に就職を決めていました。そのため、色々就職や学校に関するアドバイスとかいただきました。（国際観光学部2年 Chak Tsz Kwan）

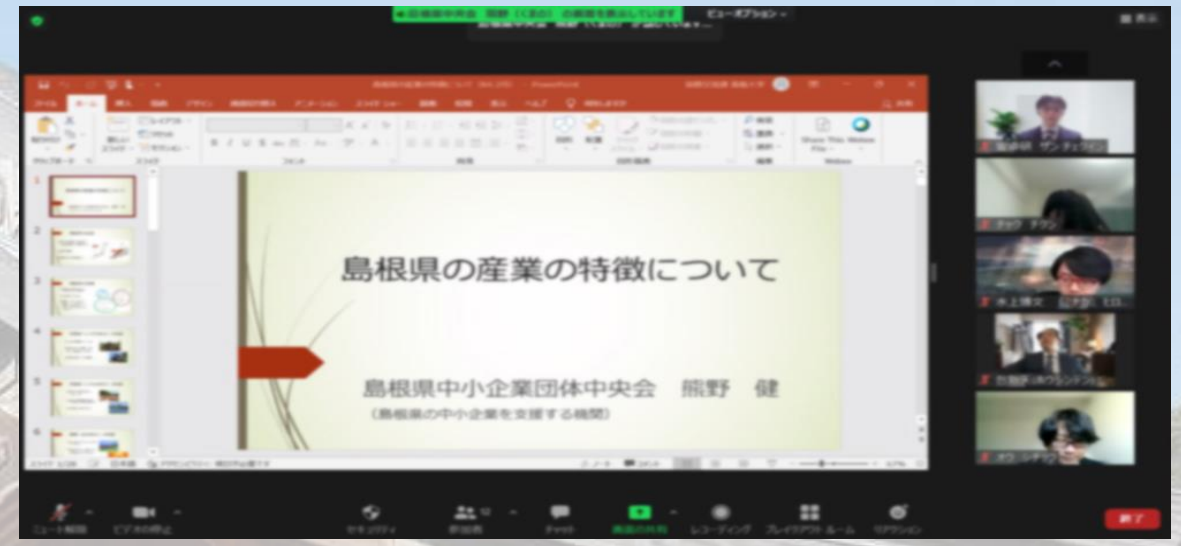
東洋大学 オンライン・インターンシップ 島根県編

1月31日 (月) 2日目：日本の企業文化+ビジネスマナー+メールの書き方

日本の企業文化について学びました。留学生にとって日本の独特な就職活動は戸惑うところだと思います。いつ就活を始めるのか、企業の採用のポイントが即戦力の人材よりも成長の可能性を見ているということも学びました。また、日本語で最も難しい部分の一つ接遇表現、ビジネスメールについても学びました。

2月1日 (火) 3日目：講義 + 企業交流

本日は島根大学国際センターの青先生と楊先生から「島根県の魅力や概要」について講義をしていただきました。東京からでは見えづらい、地方の生活の魅力とは何か。交通やお店の数などが便利なことだけが生活の魅力ではないことがわかりました。また、グループに分かれ企業様との交流会を行った際には、島根県の人々の魅力もみつけることができました。



参加者の感想

今日はインターンシップの2日目、企業様とお会いする前日の回です。配属先の企業様は演劇とまちづくりを活動としてきたNPO法人あしぶえという60年近く続けてきた劇団と心細いと思います。(国際学部3年 WANG ZHICHAO)

日本のビジネスマナーとエチケットを学びました。卒業後、日本で最も重要な仕事の参画で、一人で理解するよりも先生から教わることが大変だったので、時間をかけてインターネットで検索しました。(国際学部2年 KAUNG KHANT NYI)

参加者の感想

島根県に行ったことがないです。詳しくは、中々説明がつかないです。今回のインターンシップで島根県に進んでみたいと思います。(経済学研究科1年 徐 冉)

今日は企業様と先生に話を聞かせていただき、とても勉強になりました。先生は、私にいろいろと話を聞いてくださり、とても感謝しています。先生の話は、とても面白かったです。先生の話は、とても面白かったです。先生の話は、とても面白かったです。(文学部2年)

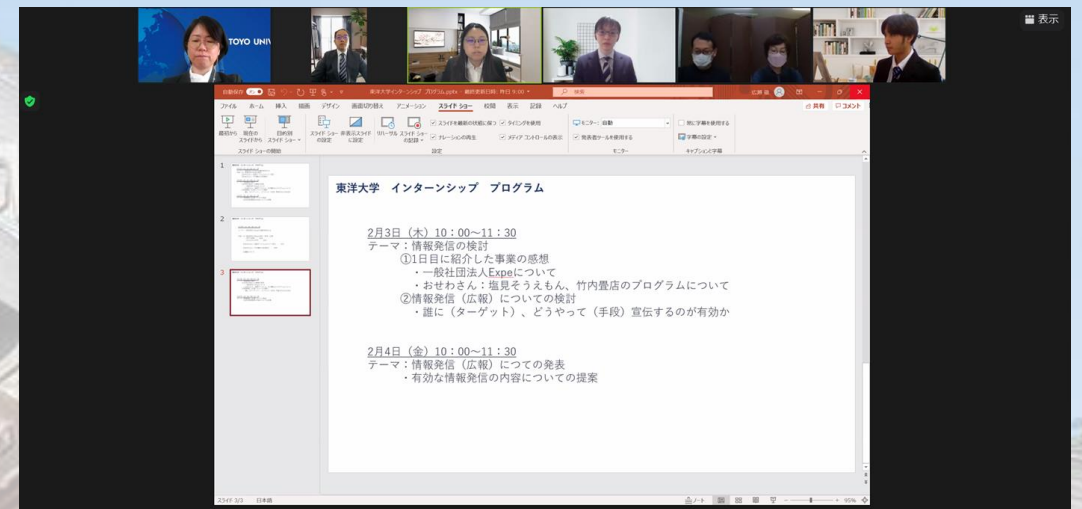
東洋大学 オンライン・インターンシップ 島根県編

2月2日 (水) 4日目：企業説明会 + 課題の提示 + 講義

おせわさんセンター塩見様、竹内様より「松江市観光商品の魅力について」、島根県中小企業団体中央会課長熊野様より「島根県の産業の特徴について」ご講演をいただきました。また、各グループに分かれて企業様より課題の提示をしていただきました。NPO法人あしぶえ様のグループは「より多くの人に演劇を知ってもらう」、一般社団法人Expe様のグループは「外国人観光客を魅了する商品開発」という課題をいただきました。

2月3日 (木) 5日目：企業様との交流 + グループワーク

企業様よりいただいた課題を解決するために必要なデータを企業様へのインタビューを通じて、調査しました。課題解決の方向性を間違えないためにも、企業様と念入りに相談をした上で、グループワークに入りました。グループでは若者・留学生という視点から多様なアイデアを出し合いました。やはりSNSの活用が世代を感じさせられる点です。



参加者の感想

ミニ畳を実際に作るシーンを見ると、日本の匠という言葉を感じて、現場にもぜひ行きたいと思いました。また、ゴーストツアーについては街をめぐって、日本の文化・歴史と街案内を兼ねていて、外国人の一員の私にとっても、魅力的だと思います。(食環境科学部2年 包 新天)

演劇を見たこともない、知るチャンスもない私は、ただ自分のことを聞かただけで演劇の業界についてイメージすることができました。企業様から熱情的、感激的な気持ちを感じ、毎回同じパフォーマンスにも関わらず、初回のように全力で演劇するという熱です。企業様のおかげで、演劇業界について新しい知識を身に付けることができました。(国際学部3年 Nguyen Thi Hoang Pho)

参加者の感想

発表資料作成の段階で、我々はまず目標と企業特色を並べました。そして関連するであろうデータをネットで調べ始めました。予想通り、3.5時間は足りませんでした。ですが、黒白で、まとまりのないものを提出するわけでもいかず、翌朝までPowerPointを作成しました。(経営学部2年 Tsang Cheuk Yin)

ホームページの解説不足やSNSの発信力不足、そして提案として、演劇をデジタル化し、本インターンシップに参加されているExpe社様との連携はどうかという話もしました。しかし、これらの提案に対し企業様と青先生からの反響はあまり積極的ではありませんでした。後半は黄先生から企業様への提案をする際、注意すべき点について説明を頂き、データを用いた具体的な説明が必要だと思いました。(国際学部3年 WANG ZHICHAO)

東洋大学 オンライン・インターンシップ 島根県編

2月4日 (金) 6日目：中間報告

企業様から出された課題に対する中間報告会を行いました。お互いのグループの発表を見て、学生同士指摘し合い、新しい視点を持つことができました。また、企業様にもお褒めの言葉をいただきました。一方で、提案に対する根拠の出どころなどデータに基づいた提案が必要だということも考えさせられました。いただいたアドバイスをもとに最終報告に向けてブラッシュアップしていきます。



参加者の感想

短時間で作った資料ですので、練習なしでどうなるのか少し不安もありますが、無事に終わりました。もちろん、反省すべきことはたくさんあります。最初はチームメンバーの解説分担について、筋は通っていますが、連携が足りなく、バタバタしました。学んだことについて、データの重要性とそれにたどり着く結論の関連性の重要さを改めて感じました。(食環境科学部2年 包 新天)

まず昨日のPowerPoint作成の話の続きをしましょう。各メンバーが必要と思うものが各々集めた資料ですので、合わない資料や比較する意味があまりない資料も集まりました。「こーりゃ大変になりそうだ」と思いながら、簡潔で、提案に注目させる報告に作成するよう尽力しました。(経営学部2年 Tsang Cheuk Yin)

参加者の感想

本日は中間報告で議論してきたものを企業様に発表させていただきました。まだ足りてないところとか直してほしいところなど先生たちがフィードバックしていただいたことをもう一度グループメンバーで議論しました。データとかを正しく使うことが勉強になりました。グループメンバーからもいろいろなことを学び成長してきました。(国際学部2年 KAUNG KHANT NYI)

最も印象深い指摘は言葉使いの問題です。「ご清聴ありがとうございました」という言葉は近年若者によく使われていますが「静かに聞いてくれてありがとうございました」という意味はよくないという意見があると思わなかったです。それから、専門用語の解説も必要だと気づきました。それもこれも、指摘されなければ、自分たちでは中々気が付かないものでした。そのため、指摘を受けるのは、全部悲しむものではないと思いました。(国際観光学部2年 Chak Tsz Kwan)

中間報告会のため、昨日は遅くまで残業していました。みんなのアイデアをまとめ、スライドを作り、ザンさんがデザインしてくれました。時間の関係もありますが、準備不足と痛感しました。今回の中間報告会には反省が多く、最終発表会ではうまくやりたいと思います。そして、グループ全体のアイデア、発言の時間を確保しつつ、時間マネジメントをきちんとしたいです。(経済学研究科1年 徐 冉)

企業様と三日間に渡り、交流してきた今日、両グループが集まって中間発表をしました。先日の内容の濃い講義を整理し、企業様から聞いた話も参考にして、形の整えたプレゼンテーションができました。内容にはまだ欠如があるところは十分知っており、他グループの方からも指摘と意見をいただき、それらに答えるように最終発表に臨んでいきたいと思います。(文学部2年 水上博文)

本日のインターンシップで意見や指摘を参考にすることの重要性を学びました。中間報告をした後、たくさんの方から質問や指摘を受けました。しかし、ほとんどの質問に回答できず、勉強不足だと反省しました。さらに、島根大学の楊先生や青先生からは私たちが気づいてなかった点を指摘してくださったおかげで、課題を新しい視点から見ることができました。(国際学部3年 Nguyen Thi Hoang Pho)

昨日はメンバー同士で話し合っ、企業様と話し合った方向性に沿うつもりでみんなそれぞれ担当する部分について資料探しなど、なんとかして今日の発表用パワーポイントを作成できました。時間に追われていたので質より効率を重視し、それぞれ独自に作っていました。その結果、企業様と青先生からいろいろ指摘をいただき、改善すべき点などたくさん見つかりました。(国際学部3年 WANG ZHICHAO)

東洋大学 オンライン・インターンシップ 島根県編

2月7日（月）7日目：グループワーク（発表資料の作成）

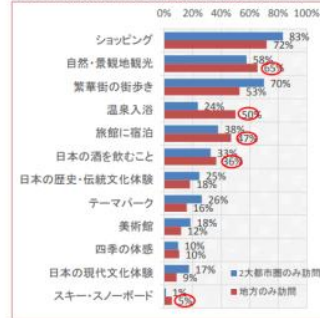
インターンシップも中盤を過ぎ、方向性が固まってきました。前回の発表で指摘を受けた提案の根拠となるデータ探しなどグループで分担して協力して資料の作成をしています。しかし、時間は限られているので、その中でできる提案をしていきたいと思えます。グループで意見が割れることもあります。協調・協力ということも本インターンシップで学んでいます。

2月8日（水）8日目：発表練習

明日の最終発表に向けて、2つのグループがお互いにプレ発表会を行いました。しっかりとデータの裏付けを取り説得力のある発表をすることができました。グループでの議論だけでは気づかなかった視点からアドバイスをもらいました。午後から最終調整が続きます。明日の最終発表では、企業様に納得していただけるような提案にしたいです。

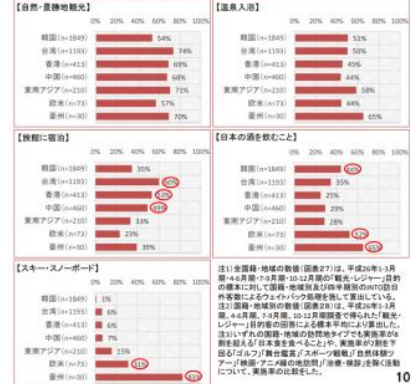
ターゲット選定 リピーターが地方に行く目的

図表27 訪問地タイプ別の活動実施率(全国籍・地域)

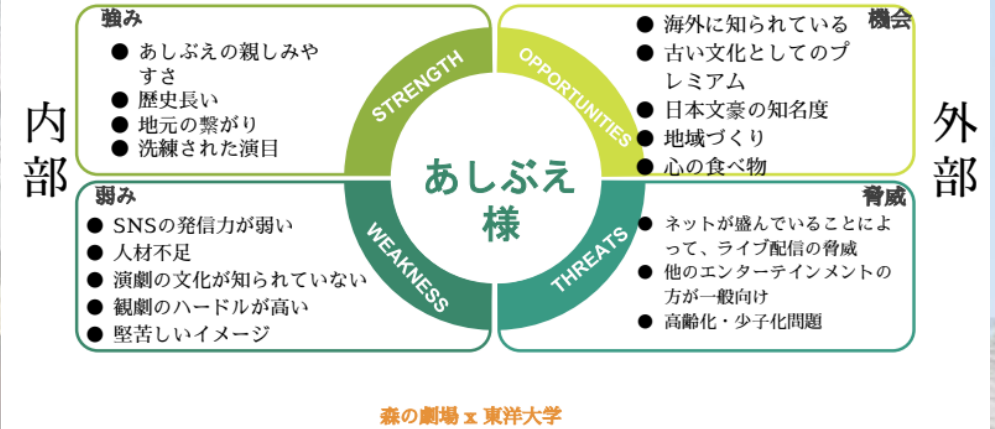


出典：観光庁観光戦略課調査室（平成27年）訪日外国人消費動向調査【トピックス分析】平成26年訪日外国人観光客の地方訪問状況～観光客の2人に1人が2大都市圏以外の地方を訪問

図表28 地方のみ訪問者の活動実施率



SWOT分析



参加者の感想

新しい内容に関するデータを漁り、オンラインスライドで発表しました。結果から見ると地方の特徴を生かしていないことが明らかになりました。「芸」が欲しいということで、グループの中では、地方ならではの提案を出すことが重要だという結論になりました。（食環境科学部2年 包 新天）

休日を挟んだとは言え、休めるとはなりません。前回発覚した問題を解決し、足りないものを補強するために、国内のみならず、国外の調査や論文を漁りました。今回のインターンシップだけでなく、今後も有用な情報がたくさん手に入りました。（経営学部2年 Tsang Cheuk Yin）

参加者の感想

最終報告を備え、最後の調整を行い、練習しました。今回のグループワークで、他のメンバーの意見を聞いて、自分のなかでは、とても刺激を受けました。自分一人では思いつかないような案が沢山あって、楽しくグループワークをできました。（国際観光学部2年 Chak Tsz Kwan）

テーマは「演劇をより多くの人に届ける」という課題に対して、広く一般に演劇の経験や演劇と触れ合う機会がないため苦労しました。しかし、今回のインターンシップは自分の限界と努力がどこまであるか発見するきっかけとなりました。YouTubeで動画を見たり、ネットで検索したりしていました。その結果、最終発表期限の前に完成版を作成できました。（国際学部3年 Nguyen Thi Hoang Pho）

東洋大学 オンライン・インターンシップ 島根県編

2月10日 (木) 9日目：最終発表日

本日は、最終発表の日でした。1グループの持ち時間は20分（発表15分、質疑応答5分）です。長いようで短いインターンシップです。限られた時間の中で最善のプレゼンテーションをすることができました。グループで1つのプレゼンを作成することの大変さを感じるとともに、出来上がったときの達成感も同時に感じることもできました。



参加者の感想

中間報告と異なり、内容が求められ、合理的に発表できました。さらに、すべての質問に対して回答できるようになりました。準備する時間がわずかでしたが、チームメンバーと協力していたおかげで、充実した発表をすることができたと思います。最後に、企業様にお礼を言ったときに、「いつでもおいでね」と親しく仰っていただいて、帰る場所が増えたと非常に心に響きました。本インターンシップは、自分の強みを活かす機会でありながら、素敵な出会いに恵まれた機会でもありました。この度、学んだことを今後の就職活動に活かすのはもちろん、この縁を大切にしていきたいです。（国際学部3年 Nguyen Thi Hoang Pho）

今日は最終発表でした。発表の5分前にもパワーポイントの修正をしていました。中間報告会より準備はできていると思います。パワーポイントのデザインは前のものより素敵な効果を使っていなかったのですが、内容はよくなったと感じていました。短い時間の中で0から作り直すことはなかなか勇気が必要だと思いました。十日間でよいチームになったと思いました。（経済学研究科1年 徐 冉）

企業との最終プレゼンテーションの日、チームの全員が多くのことを検索し、企業に最高の結果をもたらす準備をしました。専攻で学んだことをすべて組み合わせることでこのプレゼンテーションに適用し、検索して取得した新しいデータや情報も組み合わせました。これらすべての情報を基に、企業向けの新しい提案またはソリューションを考え出しました。他のチームからも学びました。また、彼らがどのように情報を検索して使用したかについても学びました。2つのチームが会社に対してわずかに異なる方法で行ったので、私たちは多くのことを学びました。（国際学部2年 KAUNG KHANT NYI）

今日のインターンシップは前半は最終発表をして、後半は企業様と交流をしました。今回も同じ企業様との交流についてとても濃厚な時間を過ごしました。発表に間に合わなかった発想とアイデアを企業様と話せてよかったと思いました。最終発表についてグループワークを進める上で、共同で取り組む課題でまとめたりすることの難しさを味わいながら、最後には意見を出し合って進展するようになりました。（食環境科学部2年 包 新天）

提案が良い出来ではありませんでした。しかし、ターゲット選定と分析に意見を出されず、ご満足まで改善出来て良かったと思いました。メンバーの拘りにより、一部の提案は指摘されたにも関わらず、最終報告まで持っていました。それも自分が意見を伝達したとき充分伝えていなかったと痛感しました。連日充分の休息を取れていなかったせいか、上手く頭の回転ができず、他のメンバーにフォローして貰いました。（経営学部2年 Tsang Cheuk Yin）

最初の時はよそよそしい4人ですが、今となってはもうすごく頼れる仲間同士となり、感無量です。発表は無事終わり、質疑応答も何事もなく終わるところ、先生は私達が時間に追われてジタバタして説明し損ねた内容を補足していただき、すごく助かりました。さすが先生、全てを把握していると思われま。明日は最終の振り返り回、寂しい気持ちはすでに湧き始めたので、非常に心配です。（国際学部3年 WANG ZHICHAO）

今日でやっとグループワークの成果を発表する日が訪れました。私たちが担当していた劇団あしぶえ様に「スタッフ全員に共有したい、実のあるインターンシップでした」という言葉をいただいて、とてもうれしかったです。発表の後は交流会を行い、劇団あしぶえ様と島根大学の青教授とお話ができる最後の機会でした。振り返りしつづ、一人ずつありがたいお言葉をいただきました。（国際観光学部2年 Chak Tsz Kwan）

東洋大学 オンライン・インターンシップ 島根県編

2月11日 (金) 10日目：事後研修

10日間の地方都市インターンシップ【島根県編】が終了しました。本プログラムは、島根県内の企業・団体と連携し、インターンシップ生が実際に業務に携わり、社会情勢により急遽中止されたとしても、オンライン上でサポートを行います。本プログラムは、島根県内の企業・団体と連携し、インターンシップ生が実際に業務に携わり、社会情勢により急遽中止されたとしても、オンライン上でサポートを行います。

参加者の感想

島根県は、自然豊かな環境で、食文化も豊かです。インターンシップを通じて、島根県の人々と交流し、地元の文化や産業について学びました。また、企業の方々から貴重なアドバイスをいただきました。この経験は、今後のキャリア形成に大いに役立ちます。

今回のインターンシップは、オンラインで行ったにもかかわらず、島根県の人々と交流し、地元の文化や産業について学びました。また、企業の方々から貴重なアドバイスをいただきました。この経験は、今後のキャリア形成に大いに役立ちます。

インターンシップを通じて、島根県の人々と交流し、地元の文化や産業について学びました。また、企業の方々から貴重なアドバイスをいただきました。この経験は、今後のキャリア形成に大いに役立ちます。

今回のインターンシップは、オンラインで行ったにもかかわらず、島根県の人々と交流し、地元の文化や産業について学びました。また、企業の方々から貴重なアドバイスをいただきました。この経験は、今後のキャリア形成に大いに役立ちます。

インターンシップを通じて、島根県の人々と交流し、地元の文化や産業について学びました。また、企業の方々から貴重なアドバイスをいただきました。この経験は、今後のキャリア形成に大いに役立ちます。

企業様へ

ご多用の中、東洋大学の地方都市インターンシップにご協力いただきありがとうございます。現地の社会情勢により急遽中止となりましたが、オンライン開催にも快く引き受けてくださり大変感謝しております。

学生にとっても、実際に島根県に足を運び、現地の企業と交流し、地元の文化や産業について学びました。また、企業の方々から貴重なアドバイスをいただきました。この経験は、今後のキャリア形成に大いに役立ちます。

今回のインターンシップは、オンラインで行ったにもかかわらず、島根県の人々と交流し、地元の文化や産業について学びました。また、企業の方々から貴重なアドバイスをいただきました。この経験は、今後のキャリア形成に大いに役立ちます。

インターンシップを通じて、島根県の人々と交流し、地元の文化や産業について学びました。また、企業の方々から貴重なアドバイスをいただきました。この経験は、今後のキャリア形成に大いに役立ちます。

今回のインターンシップは、オンラインで行ったにもかかわらず、島根県の人々と交流し、地元の文化や産業について学びました。また、企業の方々から貴重なアドバイスをいただきました。この経験は、今後のキャリア形成に大いに役立ちます。

インターンシップを通じて、島根県の人々と交流し、地元の文化や産業について学びました。また、企業の方々から貴重なアドバイスをいただきました。この経験は、今後のキャリア形成に大いに役立ちます。